

多久市長 横尾 俊彦 様

産業厚生委員会

委員長 野口 義光

産業厚生委員会閉会中継続審査事項に関する申入書

産業厚生委員会では、これまで閉会中継続審査事項として「市立病院の今後のあり方」、「多久市の基幹産業である農業について」、調査・検討を進めてきました。

現在、市立病院に関してはコンサルタントによる統合候補地の評価が行われ、その結果の報告を待つ段階です。また、多久市の基幹産業である農業については、12月定例会の委員長報告で詳細を述べましたが、JAをはじめとする農業関係者との意見交換会を実施し、様々な課題や認識を共有したところです。

多久市にとって、市立病院、農業の未来は市民生活を行っていく上で非常に重要な課題であり、これらを所管する産業厚生委員会として下記のとおり意見を申し入れます。

記

1 市立病院の今後のあり方について

(1) 立地

統合、建て替えに際しては、救急搬送時の中継点として国道203号東多久バイパス、高速道路とのアクセスなど交通の利便性を考慮すること。

(2) 診療科目及び体制

統合については、県央部の二次医療が脆弱な地域であることから、診療科目や周辺の医療機関との役割分担や連携、医師確保について県及び医師会と十分な協議を行うこと。

2 多久市の基幹産業である農業について

(1) 農業用廃プラスチック回収料金改定に伴う助成額の増額、多久カントリー施設の機械更新及び補修工事についての補助事業、燃料価格高騰対策を行えないか検討すること。

(2) 多久市の農業振興については、農業の面だけではなく多面的機能や集落の維持など、多久市の状況に合致し、農業経営がより安定するよう将来を見据えた中長期の計画を策定し、施策の充実を行うこと。